

令和4年度畜産振興補助事業の評価結果の公表について

令和6年1月24日

地方競馬全国協会

畜産振興部

地方競馬全国協会(以下「NAR」という。)では、畜産振興補助事業(以下「補助事業」という。)を効果的かつ効率的に実施するため、前年度に終了した補助事業を評価(以下「事業評価」という。)する仕組みを導入し、客観的かつ的確な事業評価を行うにあたり、外部有識者から構成される「畜産振興補助事業評価委員会」(委員名簿は下表参照。)を設置し、意見を聴取しています。

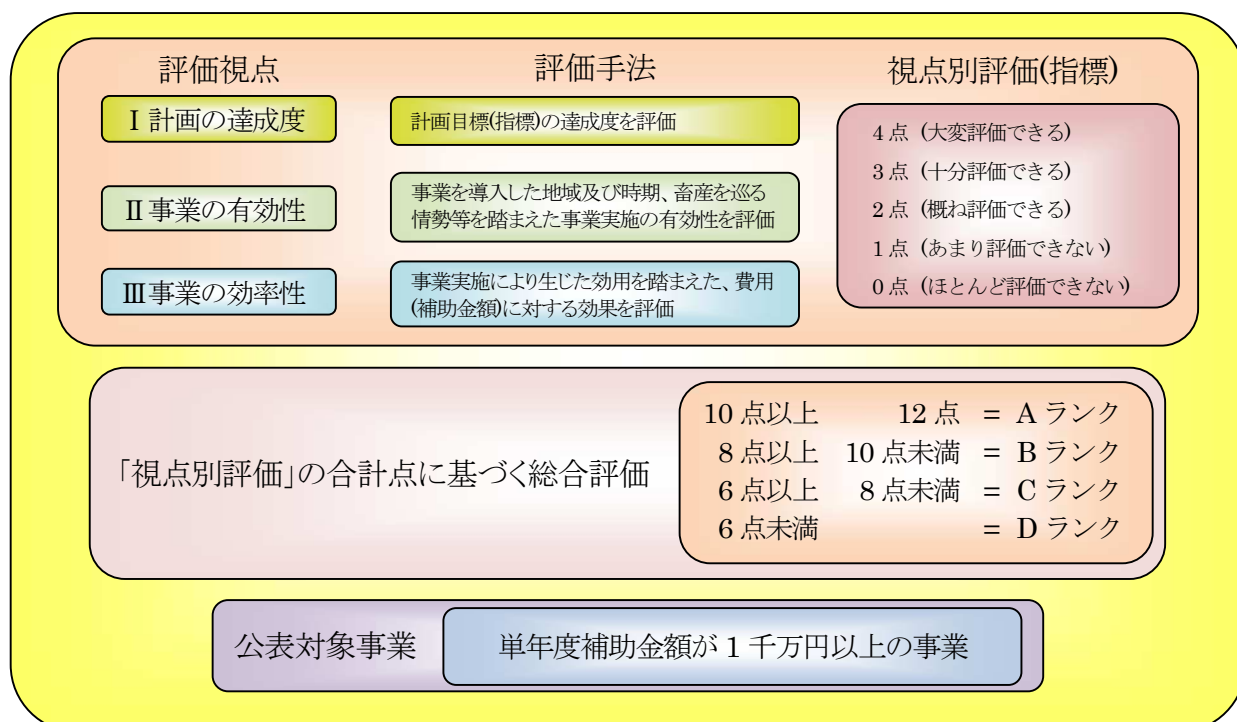
また、NARは、事業評価の結果を外部に公表することにより、補助事業の有効性及び透明性を確保することとしています。

令和5年度は、令和4年度に実施された補助事業(91団体、事業件数140件、補助金額2,050,389,000円)を対象として事業評価を行い、今般その結果がまとまりましたので公表します。

表. 畜産振興補助事業評価委員会委員名簿 (敬称略・50音順)

委員氏名	所 属	役 職 名	備考
秋 山 徹	公益財団法人 畜産近代化リース協会	常務理事	
伊 佐 雅 裕	公益財団法人 全国競馬・畜産振興会	業務部長	座長
菅 野 茂	国立大学法人 東京大学	名誉教授	
豊 田 淳	国立大学法人 茨城大学	教授	
三 田 修 司	独立行政法人 農畜産業振興機構	畜産振興部管理課長	

図. 「評価の基準」



【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進事業 (1) 登録推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会	
補助金等の名称	技術料、登録推進費、登録業務普及啓発費、事業推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 日本馬事協会登録規程 等	事業の目的	趣旨	血統登録及び事務の円滑化
	事業の内容	<p>重種馬の血統と個体識別を明確にし、繁殖成績を記録することによって馬の改良増殖を図るとともに、ばんえい競馬の公正確保等に寄与するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 血統・繁殖登録審査 北海道、青森、岩手、島根、熊本及び宮崎の各道県における重種馬等の登録を行った。また、登録審査で疑義のあった馬に対し、毛色の遺伝子検査及びDNA型検査を実施した。</p> <p>ii 登録実務者研究会 登録審査委員の技術向上等を図るため、4月に登録審査員を対象とした登録実務者研究会及び、登録審査補助員を対象とした登録審査講習会を(独)家畜改良センター十勝牧場にて開催した。</p> <p>iii 登録審査委員の委嘱 協会職員、学識経験者及び関係団体の役職員のうち、適任者10名を新たに任命又は委嘱した。</p> <p>iv システム保守改修 血統管理システムの保守を行いながら、登録情報を登録名簿に搭載し、馬関連団体情報システムにより、HPに開示した。</p>			
	補助金額 (千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
		64,166	61,832	79,472	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	


【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (2)重種種馬の導入		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会
補助金等の名称		国内産種雄馬導入費における種雄馬購入費及びその他の経費 国内産種雌馬導入費、外国産種雌馬導入費、優良種雄馬適正配置費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 種雄馬管理規程 等	事業の目的	趣旨	優良な重種種馬の購入、適正配置
	事業の内容	<p>ばんえい競馬の重賞勝ち馬等牽引能力の高い馬及び基幹の品種の重種種馬の導入による資質向上と、種馬の飼養管理技術の向上を図るため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 国内産種雄馬購入 公益社団法人日本馬事協会が定める重種種雄馬選定基準により選定された種馬の購入 令和4年度は国内産馬(ばんえい馬)3頭を購入し、北海道及び青森県の主要馬産地に配置した。</p> <p>ii 外国産・国内産種雌馬購入 重種種馬の改良増殖を推進するため、基幹の品種の外国産種雌馬や国内産種雌馬の購入及び配置 令和4年度は、購買員2名(馬事協会及び十勝牧場の職員)を派遣して、フランスで種雌馬4頭(ペルシュロン種2頭、ブルトン種2頭)を購入し、(独)家畜改良センター十勝牧場へ貸付けた。 また、内国馬(ばんえい馬)13頭を購入し、北海道及び岩手県の主要馬産地に貸付けた。</p> <p>iii 優良種馬適正配置 (独)家畜改良センター十勝牧場から借り受けた種雄馬(純粋種)5頭を主要産地へ配置した。</p> <p>iv 凍結精液の配布等 製造した凍結精液の配布、フランスから輸入した凍結精液の性状調査及び受胎試験を行った。</p> <p>v 種馬管理指導 公益社団法人 日本馬事協会及び支部が主体となって行う、北海道、青森県、岩手県、島根県、熊本県、宮崎県に配置中の種雄馬、種雌馬についての管理状況の把握と、飼養管理者に対する管理技術の向上について指導した。</p> <p>vi 種雄馬名簿の発行 令和4年度に種畜検査を受検し、種畜証明書の交付を受けた種雄馬を収録した名簿を刊行し関係者へ配布した。</p>			
補助金額(千円)		前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
		63,534	97,544	82,403	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進事業 (3) 重種種雌馬の改良増殖推進		事業実施主体名	南幌農業協同組合他24団体	
補助金等の名称	純粋種雌馬繁殖奨励費、重種種雌馬繁殖奨励費、ばんえい競馬出走馬繁殖奨励費 純粋種雌馬導入費、重種種雌馬導入費、ばんえい競馬出走馬導入費 重種馬生産者支援体制強化費				
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 重種種雌馬の繁殖奨励金交付規程 重種種雌馬の貸付規程	事業の目的	趣旨	重種馬の改良及び生産振興	
			実施方法	奨励金交付、導入費補助	
			受益対象者	重種馬の生産者等	
事業の概要	重種馬の改良及び生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。				
	i 純粋種雌馬繁殖奨励	公益社団法人日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種の重種種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき310千円以内)			
	ii 重種種雌馬繁殖奨励	公益社団法人日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種以外の重種種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき290千円以内)			
	iii ばんえい競馬出走馬繁殖奨励	地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入又は自家生産し保留した飼養者への奨励金の交付(導入・自家保留馬1頭につき360千円以内)			
	iv 純粋種雌馬導入貸付	公益社団法人日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種の重種種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき310千円以内)			
	v 重種種雌馬導入貸付	公益社団法人日本馬事協会で繁殖登録を受けた純粋種以外の重種種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき290千円以内)			
	vi ばんえい競馬出走馬導入貸付	地方競馬で行われるばんえい競馬において出走経歴を持つ種雌馬を外部から導入し、飼養者に3年以上の貸付(導入馬1頭につき360千円以内)			
補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
	36,068	41,583	85,689	R5より増頭加算(奨励金対象馬1頭あたり10万円以内)導入	
視点別評価	I 計画の達成度 4 3 2 1 0 III 事業の効率性(費用対効果)  II 事業の有効性			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I 馬の改良増殖推進事業 (4) 重種馬の繁殖奨励	事業実施主体名		上川生産農業協同組合連合会 他13団体
補助金等の名称		種付奨励費、生産奨励費、優良種雄馬改良促進奨励費、優良種雌馬改良促進奨励費、 重種馬生産者支援体制強化費			
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 優良種雄馬繁殖奨励金交付規程 子馬生産奨励金交付規程 優良種雄馬改良促進奨励金交付規程 優良種雌馬改良促進奨励金交付規程	事業の目的	趣旨	重種馬の生産促進及び牽引能力の改良	
			実施方法	奨励金交付	
			受益対象者	重種馬の生産者等	
事業の概要	重種馬の生産促進及び牽引能力の改良を図るため、次に掲げる事業を実施した。				
	<p>①優良種雄馬繁殖奨励種付奨励 当該年に種付した種雄馬の飼養者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種種雄馬1頭につき・・・100千円以内 ○純粋種以外種雄馬1頭につき・・・70千円以内</p> <p>②子馬生産奨励生産奨励 当該年度で、(公社)日本馬事協会が行う血統登録を受けた重種馬の生産者への奨励金の交付</p> <p>○純粋種・・・子馬1頭につき54千円以内 ○純粋種以外・・・子馬1頭につき53千円以内</p> <p>③改良促進奨励</p> <p>i 優良種雄馬改良促進奨励 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の父馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき53千円以内)</p> <p>ii 優良種雌馬改良促進奨励 当該年度のばんえい能力検査合格馬(初合格時のみ)の母馬飼養者への奨励金の交付(合格馬1頭につき173千円以内)</p>				
補助金額(千円)		前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
		129,105	148,646	-	R5事業については 交付決定前
視点別評価	I 計画の達成度 4 3 2 1 0 III 事業の効率性 (費用対効果)			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
	II 事業の有効性				
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I 馬の改良増殖推進 (5) その他 馬事普及啓発推進		事業実施主体名	公益社団法人 日本馬事協会	
補助金等の名称	馬事普及特別対策事業費、馬事思想普及教材の配布事業費、馬事関係資料収集事業費、優良重種馬学術調査事業費、優良重種馬生産者表彰事業費、重種馬等生産振興事業費、共通事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] ・馬事普及特別対策事業実施要領 ・優良重種馬表彰実施要領	事業の目的	趣旨	馬事知識の普及、生産技術等の継承、重種馬の資源確保
	事業の内容	<p>重種馬の改良増殖、生産技術の向上、一般向けの馬事思想普及啓発、生産者の生産意欲の向上及び生産振興策検討のため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 馬事普及特別対策事業 畜産関係団体等が実施したイベント、生産集団等が実施した生産技術調査・研修、共進会及び生産技術調査・研究開発に対する経費を助成した。</p> <p>ii 馬事思想普及教材配布事業 一般向け普及啓発用教材「馬のいろいろ(パート5)」を3,000部作成し、既に作成した「馬のいろいろ(パート1~4)」とともに配布した。</p> <p>iii 馬事関係資料収集事業 馬事の普及・啓発を図る一環として、生産者や馬事愛好家を対象とした研修会及びセミナー等に活用する資料として、馬事普及用テキスト「馬の栄養及び飼養管理」を作成した。</p> <p>iv 優良重種馬学術調査事業 ①運動能力力学調査研究(山口大学との共同研究) ばんえい競走馬の牽引能力に係る運動メカニズムの解明のための学術調査を実施した。 ②BLUP法馬能力検定調査研究(京都大学との共同研究) ばんえい競走馬及び十勝牧場の重種馬の体型測尺値、線形審査データ、ばんえい競馬能力検査成績及び産肉成績をもとに、BLUP法アニマルモデルを用いた馬の能力検定に係る評価結果を検証するための学術調査を実施した。 ③呼吸器疾患に関する調査研究(帯広畜産大学との共同研究) ばんえい競走馬等を対象とした呼吸器疾患に対する馬診療専用のビデオ内視鏡システムを用いた実態調査を実施した。 ④受精卵移植技術に関する調査研究(帯広畜産大学との共同研究) 研究ベースで実施されている馬受精卵移植技術を普及・定着するため、十勝牧場において、重種馬に受精卵移植を実施し、その手法等の技術移転を行った。</p> <p>v 優良重種馬生産者表彰事業 重種馬の生産の指標となる3歳馬の基幹2競走(黒ユリ賞、イレネー記念)出走馬の生産者(のべ19名)及び優良重種馬(多産馬2頭)の飼養者に対し、表彰式典での表彰及び褒章金を交付した。</p> <p>vi 重種馬等生産振興推進事業 重種馬生産に関する将来展望(ビジョン)について検討を行うため、重種馬生産振興に関する検討会を開催し、合計4回にわたる検討の結果、11月1日に「重種馬生産に関する将来展望」を取りまとめた。 また、地域の実態に即した生産振興策を検討するためのブロック会議(北海道、東北及び西日本)を開催した。 ※重種馬生産振興に関する検討会はハイブリッド方式、ブロック会議はWEBにて会議を実施</p>			
	補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
		32,444	43,503	51,089	
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	I馬の改良増殖推進 (5) その他 優良重種馬生産奨励		事業実施主体名	帯広市	
補助金等の名称	ばんえい競馬生産奨励費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 〔NAR〕 (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 〔事業実施主体〕 ・帯広市優良軌系馬生産奨励金交付要領	事業の目的	趣旨	重種馬(ばんえい競走馬)の資源確保
				実施方法	生産奨励金の交付
				受益対象者	重種馬の生産者等
補助金額(千円)	重種馬生産者の生産意欲を高めることにより、重種馬の生産頭数の現状傾向を抑制し、ばんえい競馬の競走馬の資源確保を図るため、次に掲げる事業を実施した。 生産奨励費(生産奨励金の交付) 当該年度ばんえい競馬の競走馬として新規登録し、かつ競走に出走した馬の生産者に対する生産者賞の交付(1走あたり12,000円を限度とする) ※本事業は、平成29年度まで「優良農用馬資源確保緊急特別対策」として(公社)日本馬事協会が実施していた。				
	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
補助金額(千円)	59,892	59,208	66,000		
視点別評価	<p>I 計画の達成度: 4 II 事業の有効性: 2 III 事業の効率性(費用対効果): 1</p>			【評価項目】	
				I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		I馬の改良増殖推進 (5) その他 重種種馬施設等整備		事業実施主体名	函館市亀田農業協同組合 他14 団体		
補助金等の名称		機械施設等導入費、施設等整備費、重種馬生産者支援体制強化費					
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 重種種馬施設等整備事業実施要領	事業の目的	趣旨	重種馬の生産振興、担い手確保			
			実施方法	リースを含む機械施設導入、及び施設等整備			
			受益対象者	重種馬の生産農家			
事業の概要	重種馬の生産振興を図るため、次に掲げる事業を実施した。						
	<p>①機械施設等導入 ※函館市亀田農業協同組合 他10団体</p> <p>②施設等整備 ※函館市亀田農業協同組合 他10団体</p>	<p>機械施設等の導入に要する経費の一部を補助 対象者及び補助率</p> <p>公益社団法人日本馬事協会がNARの補助を受けて実施する「重種種馬導入」において導入するばんえい競馬現役引退雌馬の借受者(補助率: 2/3)</p> <p>重種種雌馬の改良増殖推進事業で過去3年間に奨励金の交付を受けた者(補助率: 1/2)</p> <p>重種馬生産施設等の整備に要する経費の一部を補助 重種馬の飼養頭数の維持・拡大を図るため、重種馬生産に係る施設及び当該施設と一体的に整備する設備を整備する者が対象(補助率: 1/2)</p>					
補助金額 (千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考			
	32,980	205,795	221,392	R4年度は1団体が事業延期中			
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)			
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義			
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)			
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満			
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満			
			D	視点別評価の合計点が6点未満			

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会
補助金等の名称		畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費			
事業の概要	根拠	<p>【要綱、事業実施要領、その他】</p> <p>[NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱</p> <p>[事業実施主体] ①総括畜産コンサルタント資格試験実施要領 ②令和4年度畜産関係団体調整機能強化事業委託要領 ③令和4年度全国優良畜産経営管理技術発表会開催要領</p>	事業の目的	趣旨	畜産経営の安定及び高度化
	事業の内容	<p>道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる業務及び道府県畜産協会等の支援指導を行う次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 〈道府県畜産協会等が実施する地域畜産支援指導等体制強化事業に準ずる事業〉 ・総括畜産コンサルタント資格試験の実施(試験委員:11名、書類審査、面接試験、受験者37名、合格者19名) 新型コロナウイルスの蔓延防止のため面接試験を受験できなかったR4年度受験者15名に対し、令和4年4月25日に第2回面接試験を実施、13名が合格した ・畜産会業務円滑化推進業務の実施(ブロック会議への派遣5回) ・新任基礎研修(研修者数48名、計3回/いずれも対面開催) ・経営指導従事者研修(研修者延べ23名、計2回/いずれも対面開催) ・総括畜産コンサルタント研修(研修者数23名、計1回/いずれも対面開催) ・管理責任者等研修(研修者:延べ682名、計5回/いずれも対面開催) ・農林水産省中央畜産技術研修会(派遣者数延べ100名、計22講座)(うち研修旅費一部補助者延べ49名) ・海外畜産事情研修(研修者:延べ131名、計4回/海外派遣を中止し、WEB開催) ・経営指導成果普及検討事業(全国優良畜産経営管理技術発表会(令和4年11月25日))</p> <p>ii 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 〈畜産関係団体の活性化及び連携強化と生産者を中心とする支援組織づくりの推進〉 ・畜産関係団体の調整機能の強化事業(50団体:道府県畜産協会等) ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催11道府県) ・畜産経営相談窓口機能設置事業(50団体:道府県畜産協会等) ・電算処理事業(畜産経営データベース及び畜特利子補給等電算処理関係業務の請負) ・出版事業(月刊誌「畜産コンサルタント」、特別出版物の発行)</p> <p>iii 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 ・地方競馬開催支援促進事業(競馬開催11道府県)</p>			
補助金額(千円)		前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
		185,706	255,318	283,742	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (1) 地域畜産支援指導等体制強化		事業実施主体名	(一社)北海道酪農畜産協会 他全国45団体	
補助金等の名称	畜産経営支援体制強化推進費、地域畜産活性化・食の安定供給対策推進費、馬事普及啓発推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	地域畜産経営の安定及び高度化
	事業の内容	道府県の支援を受けて、地域畜産経営の安定及び高度化を図る次に掲げる事業を実施した。 ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業 高度な経営技術を基礎とした効率的で生産性の高い畜産経営の発展を推進するため、畜産農家等に対して、経営診断による改善指導、フォローアップ指導等の経営指導を行い、ホームページ等で広く経営情報を提供し、畜産経営技術の高度化及び経営改善を図ること等を目的とした事業の実施 イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業 地域畜産の実情に応じたブランド化事業等の推進や食育及びふれあい体験活動を通じた畜産の普及啓発、家畜伝染病や食肉の安全性等の情報を正確に伝達し、国内畜産への理解醸成と国産食肉の安全安心の周知を図ること等を目的とした地域畜産物の活性化のための事業や、一般消費者への普及・PR活動、畜産物の安全かつ安定的供給に資する事業の実施 ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業 地方競馬の開催日等に合わせた観戦ツアー、畜産フェア等のイベントの実施や、各種イベントにおける馬事振興などを実施し、地域における馬事・畜産の普及啓発を図ること等を目的とした事業の実施			
	補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
	514,990	699,215	999,982		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (2) その他 馬の装蹄技術講習及び装蹄師の養成		事業実施主体名	公益社団法人 日本装蹄協会	
補助金等の名称	馬の装蹄技術講習及び装蹄師の養成				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬装蹄技術向上研究会実施要領 国際装蹄技術交流事業実施要領	事業の目的	趣旨	装蹄技術の研修及び普及
	事業の内容	<p>現役の馬装蹄師の技術向上及び馬装蹄師を目指す者を養成するため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 馬装蹄技術向上研究会 ①全国の地方競馬場を7ブロックに区分け、4年度は関東地区(大井競馬場)、中四国地区(高知競馬場)を選定し、地方競馬場装蹄師及び馬関係者を対象にした研修会を開催(2回/合計30名)を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により高知競馬場での研修会は中止した。(大井競馬場での研修会は実施、参加者23名) ②最新の装蹄技術と理論的な背景の習得を目的として、競馬先進国米国へ4名(うち随伴2名)を派遣したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により帰国後の報告研修会は中止した。</p> <p>ii 馬装蹄師の養成 ①事業実施主体が有する装蹄教育センター(宇都宮)で行う1年間の装蹄師講習会(装蹄師認定講習会)の一環として行う、より実践的な実技研修のため、地方競馬教養センター(栃木県那須塩原市)での学外装蹄実習を開催。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、一部実習が中止となり、開催した場合でも、1泊の予定を日帰りに変更したうえで講習生の人数を縮小することとなった。 ②実践的な装蹄法の体験実習や、地方競馬場における厩舎関係者や開業装蹄師の就業状況についての見学を笠松競馬場で実施。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施方法を宿泊から日帰りに変更した。</p>			
	補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
		2,196	10,966	11,674	
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (2) その他 畜産教育支援		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会
補助金等の名称		畜産教育支援費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱		趣旨	農業高等学校、農業大学校教職員を対象とした畜産教育高度化の支援
				実施方法	農場HACCP指導員・審査員資格に関する研修会の受講費補助
				受益対象者	農業高等学校、農業大学校の教職員
事業の内容		<p>本事業は、近年畜産の担い手育成確保という点で注目されている農業高等学校、農業大学校における高度な畜産教育実践に向けて、教職員が畜産物の安全性確保に重要な生産農場における飼養衛生管理対策の徹底等に関する高度な知識を獲得するために、農場HACCP指導員及び農場HACCP審査員の資格取得のための取り組みに対して支援を行う。また、農業高等学校、農業大学校の附属農場が農場HACCP推進農場及び農場HACCP認証資格の取得を目指すための取り組みを支援することで、将来畜産への就農を目指す学生等への教育支援を実施し、我が国の畜産の振興に資することを目的としている。</p> <p>(1) 畜産教育高度化支援 ・畜産物の安全性確保に必要な生産農場における飼養衛生管理の高度な知識等を獲得し、対策を徹底するため、農業高等学校・農業大学校等の教職員向けに農場HACCP指導員資格取得研修会を開催し、その受講生に対して旅費等の経費補助を実施した。 ・農場HACCP指導員よりもさらに高度な知識を取得するため、農場HACCP審査員資格取得を目指す農業高等学校・農業大学校等の教職員向けに研修会を開催し、その受講生に対して旅費等の経費補助を実施した。</p> <p>(2) 畜産教育モデル農場支援 高度な知識を取得した農業高等学校・農業大学校等の教職員の指導により、高度な衛生管理等を実践しているモデル農場を構築するため、校内の附属農場の農場HACCP推進農場、農場HACCP認証資格取得を目指すための支援を行った。</p>			
補助金額 (千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
	8,465	12,583	11,541		
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (2) その他 全国和牛能力共進会活用事業		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会	
補助金等の名称	全国和牛能力共進会活用事業費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	農業高等学校、農業大学の学生の就農意欲等を高める
		実施方法		学生向け全共解説書の作成・配布、審査映像の配信、飼養管理機材の導入補助	
				受益対象者	農業高等学校、農業大学の学生
<p>令和4年10月6日～10日に開催された第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会(以下、「全共」という。)では、従来の出品区に加えて特別区として「農業高校・農業大学の部」が新設されたところである。 本事業は、この全共や特別区の新設をきっかけとして、和牛の魅力を発信することで、全国の農業高等学校生や農業大学校生に和牛の能力や繁殖技術等への興味を喚起し、畜産の担い手としての就農意欲等を高めることを目的としている。</p> <p>(1) 和牛生産教育 ・和牛審査ポイントを説明した解説書「和牛の見かた入門」の作成及び全共「高校及び農業大学の部」審査等におけるインターネットライブ配信等の内容を検討するための委員会を開催した。 ・インターネットライブ配信を周知するチラシ及び「和牛の見かた入門」を作成・配布した。 ・全共の審査と等級審査をYouTubeで配信した。また、「高校及び農業大学の部」の配信映像のダイジェスト版DVDを作成・配布した。</p> <p>(2) 担い手情報交流 ・「高校生・大学校生歓迎交流会」にて、肉用牛生産により興味を持ってもらうため、海外和牛肉の輸出に関する講演及び肉の華盛の実演と、学校間の情報交流の場に和牛肉の提供を行った。</p> <p>(3) 和牛生産環境整備 ・全共出品校におけるICT機器導入の事業推進を図るため、出品校が所在する24道県地方会員に対して、当該事業の説明会をオンラインで開催した。 ・出品校24校を対象に、ICT機器導入にあたり、分娩監視装置「MOOVIE」の紹介を行い、うち15校に導入した。</p>					
補助金額(千円)		前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
			34,764		
視点別評価				【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

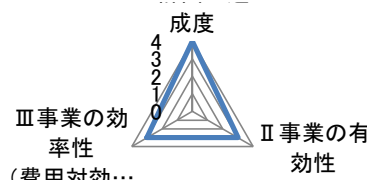
【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅱ 畜産経営技術指導事業 (2) その他 畜産技術情報収集・提供事業		事業実施主体名	公益社団法人 畜産技術協会	
補助金等の名称	畜産技術情報収集・提供費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	最新の畜産技術情報を収集・選定し、畜産関係者に提供する
		【事業実施主体】 (令和4年度)畜産技術情報収集・提供事業実施要領		実施方法	・具体的な事例等の現地調査 ・研修会等の開催への支援
				受益対象者	畜産関係者
事業の内容	<p>生産現場に必要な情報の調査・収集を行い、研修会の開催やインターネットによる情報公開の仕組みを構築する取組等を実施することで、畜産関係者に対して畜産技術情報を継続的に広く提供し、畜産技術の普及・定着を図る。</p> <p>1.畜産技術情報収集事業 ・専門家による検討を踏まえた技術情報の収集・選定 ・生産現場等における具体的な開発・取組事例等の現地調査実施</p> <p>2.畜産技術情報提供事業 ・都道府県、試験研究機関、畜産経営者等を対象とした研修会開催に対する補助 ・農業関係教育機関への情報誌の寄贈、及びインターネットでの情報発信</p>				
補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
		18,642	23,945		
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	Ⅲ畜産経営合理化事業 4 草地・飼料の有効利用促進 その他 放牧を中心とした持続的畜産普及拡大推進		事業実施主体名	一般社団法人 日本草地畜産種子協会	
補助金等の名称	放牧指導者等育成研修会開催費、現地指導・課題調査費、認証拡大・関係者交流促進費、消費者理解醸成・情報提供・交流会開催費、推進事務費				
根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	持続的な畜産経営の実現のための放牧の推進	
	[事業実施主体] ①放牧等持続的畜産普及促進事業実施要領 ②放牧畜産研修牧場設置要領 ③放牧畜産実践展示牧場設置要領		実施方法	企画検討委員会の開催 指導者育成等のための研修会や現地指導 放牧畜産実践牧場の新規認証の推進 全国放牧ネットワーク活動の支援 放牧畜産物の普及啓発	
			受益対象者	畜産農家、一般消費者等	
事業の概要	<p>放牧の推進により持続的な畜産経営の実現を目指し、食糧自給率の向上に資するため、以下の事業を実施した。</p> <p>(1) 放牧等持続的畜産普及拡大企画事業 ・放牧等持続的畜産企画検討委員会を開催し、本事業の計画等を検討した。</p> <p>(2) 放牧等持続的畜産技術向上事業 ・普及指導機関や畜産農家等を対象に放牧に関する研修会を開催した。 ・放牧アドバイザー等を派遣した現地指導を実施した。 ・第12回全国和牛能力共進会においてブースを設置し、放牧アドバイザーによる相談コーナーの設置及び放牧に関する普及資料の展示・配布等を行った。 ・放牧実践事例や採草利用等の新たな展開等に関する調査や、放牧推進の課題等に関する情報収集を実施した。</p> <p>(3) 放牧等持続的畜産普及啓発事業 ・放牧等推進検討委員会を開催し、放牧の効果的な普及を図るための普及資材、動画の作成について検討した。 ・放牧認証指導員を確保し、認証基準への適合性の確認や新規認証の拡大等を推進した。 ・地域の放牧推進団体を通じた放牧研修等への支援を実施した。 ・全国放牧畜産ネットワーク協議会会員が行う研修事業について支援を行った。</p> <p>(4) 放牧畜産物普及浸透促進事業 ・農業総合展農業Weekに出展し、放牧乳及び乳製品の展示販売、パネル展示、放牧技術に関する相談会等を行った。 ・放牧畜産物を生産している放牧畜産実践牧場について紹介ビデオを作成し、協会のHPで紹介した。 ・放牧酪農乳製品の普及展示や販売活動を生産者とともに実施し、放牧畜産物の魅力をPRした。</p>				
補助金額 (千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
		39,691	45,006		
視点別評価				【評価項目】 Ⅰ 計画の達成度 Ⅱ 事業の有効性 Ⅲ 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
		D	視点別評価の合計点が6点未満		

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会
補助金等の名称		馬事畜産振興推進費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領	事業の目的	趣旨	畜産振興への寄与についてのPR 畜産物の消費拡大 地方競馬支援
	事業の内容	<p>地方競馬における畜産振興への取組をPRするため、次に掲げる事業を実施した。</p> <p>i 道府県関係費(地方競馬支援・畜産・畜産物の普及啓発) ・冠競走実施(166回)、畜産フェア等の開催(104回)及び競馬見学会等(21回)【馬事畜産地方協議会対応】</p> <p>ii 畜産フェア ・イベント(競馬の社会貢献性を普及啓発する資料と畜産物を提供) ①第34回ばんえいグランプリ(帯広競馬場・8月・表彰式典での授与) ②いちご一会とちぎ国体(ブース出展、サンプリングキット及び栃木県レトルトカレーを1,000セット配布) ③畜産フェアinばんえい十勝(帯広競馬場・3月・サンプリングキット及びLL牛乳1,500セット配布) ・WEB畜産フェア(クイズ・アンケート回答者から抽選で畜産物等をプレゼント) ①ダービーシリーズキャンペーン、②JBC畜産フェア、③ばんえい十勝キャンペーン</p> <p>iii 中央支援費 ・国際養鶏養豚総合展への出展(LL牛乳7,000本の配布) ・全国和牛能力共進会鹿児島大会への出展(サンプリングキット3,000セット、マドレーヌ500個の配布)</p> <p>iv 地方支援費(家畜が係わる伝統行事支援)平成30年度より実施 ・チャグチャグ馬コや相馬野馬追等、全国各地の家畜が係わる伝統行事(103団体)の保存活動を支援</p> <p>v 地域畜産物の贈呈 ・ダートグレード競走等基幹競走21競走の優勝馬主等(22名) ・地方競馬シリーズ競走上位騎手(3名×2シリーズ)</p> <p>vi 地方競馬主催者等のキャンペーンへの地域畜産物贈呈</p> <p>vii 地方競馬の公益プロモーションビデオの広報活動 R3年度に作成したプロモーションビデオを競馬場、インターネット、イベント出展ブースで放映</p>			
補助金額(千円)		前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
		102,181	146,364	151,600	R4から畜産フェア普及特別対策事業を一部移管
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p>  <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			<p>【評価項目】</p> <p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p>	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進 (全国和牛能力共進会普及啓発)		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	全国和牛能力共進会の情報提供 和牛生産の普及啓蒙 地方競馬による畜産振興の理解醸成
		[NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱		実施方法	WEBキャンペーンの実施
				受益対象者	一般消費者等
事業の内容	<p>全国和牛能力共進会鹿児島大会(以下、「全共」という。)に関する情報を全国的に提供し、わが国の和牛生産について普及啓蒙を図るとともに、地方競馬による畜産振興について理解醸成を図るため、以下の事業を実施した。</p> <p>i キャンペーンサイトの開設 ・全共に関する情報や地方競馬による畜産振興等についての内容を掲載したWEBサイトを開設した。</p> <p>ii WEBキャンペーンの実施 ・全共出品41道府県の銘柄和牛が当たるキャンペーンを実施し、抽選で3,000名に送付した。 ・銘柄和牛の抽選で外れた方を対象に、ダブルチャンスとして全共オリジナルグッズ、地域畜産物、全共会場で使用可能な商品券を抽選で送付した。</p> <p>iii WEBキャンペーンの広報宣伝 ・WEB広告や鹿児島の新聞紙面、タウン情報誌等に広告を掲載しWEBキャンペーンの周知を図った。</p>				
補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
		54,936			
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 馬事畜産振興推進 (牛乳乳製品普及対策)		事業実施主体名	馬事畜産振興協議会	
補助金等の名称	馬事畜産振興推進費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】	事業の目的	趣旨	生乳廃棄回避のための牛乳乳製品需要の喚起、拡大
		[NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 馬事畜産振興推進事業実施要領		実施方法	WEBキャンペーンによる乳製品の提供 競馬場来場者への飲用乳の提供
				受益対象者	国内の酪農家等
	事業の内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に加え、飼料価格高騰に伴う乳価の引き上げにより生乳の消費が低迷する懸念がある。特に、小中学校等の春休み期間にあたり、学校給食用の牛乳の供給がなくなる3月にかけて、生乳廃棄の可能性が懸念されたことから、特定期間を「地方競馬ミルクウィーク」と題し、畜産振興の一環として牛乳製品の需要の喚起、消費拡大等を緊急的に実施した。</p> <p>1.地方競馬ミルクウィーク(3月9日～3月16日)の実施 (1)地方競馬場での牛乳・ヨーグルト等の配布 道府県協議会と連携を図り、全国14の地方競馬場において、地域の牛乳・ヨーグルトを来場者に配布した。 (2)地方競馬場での冠レースの実施及び副賞(乳製品)の提供 期間中開催のあった地方競馬場9場において、冠レースを実施し、副賞として優勝馬の馬主・騎手・調教師・厩務員等に地域の乳製品を贈呈した。 (3)地方競馬ミルクウィークの広告宣伝 取り組みを一般消費者に広く周知するために、特設サイトを作成したほか、新聞やSNS等を用いた広告宣伝を行った。</p>			
補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
	49,482	14,892		R5年度の実施については検討中	
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	9	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 その他 畜産振興特別対策 (生乳検査体制構築事業)		事業実施主体名	公益財団法人 日本乳業技術協会
補助金等の名称		検討会開催費、校正乳採取・検査費、測定機器整備費、推進事務費			
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 校正乳用原料生乳関係業務委託要領		事業の目的	趣旨 生乳検査精度維持のための校正乳の安定的な調達方法の確立
	事業の内容	<p>生産者と乳業者の生乳取引の際、生乳成分等の規格を事前に設定し、当該規格への適合状況を正確に検査することにより、安全性や品質が確保されてきた。生乳検査の検査精度を維持するためには、すべての生乳検査所が校正乳を定期的、安定的に確保できることが必要であり、各成分に適切ならばつきのある校正乳の安定的な調達方法を確立する必要がある。</p> <p>また近年、生乳中の脂肪酸組成が、農場における飼養管理の指標として活用されているが、脂肪酸組成の検査を適切に行うための正確な測定値が付与された校正乳を調達・作成・配布する機関がない。</p> <p>これらより本事業は、(1)校正乳確保のための原料生乳の採取や検査に関する調査及び(2)脂肪酸組成の精度管理手法確立のための検討を行い、校正乳の提供体制の確立を図るものである。</p> <p>(1)生乳取引検査のための校正乳調達手法調査 ①生乳取引検査のための校正乳調達手法調査事業検討会の開催 ②地域別生乳成分の緊急調査・分析 ③校正乳用原料生乳選定検査及び原料生乳採取 ④校正乳の作成・提供</p> <p>(2)飼養管理指標検査の精度管理手法検討 ①飼養管理指標検査の精度管理手法検討会の開催 ②脂肪酸組成の検査体制整備 ③脂肪酸組成用校正乳提供のための検討 ④脂肪酸組成用校正乳の提供</p>		実施方法	地域別生乳の調査分析、校正乳の選定・作成、脂肪酸組成用校正乳の提供
				受益対象者	国内の酪農家、乳業者
補助金額(千円)		前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考
			10,589		R5年度の実施については検討中
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>II 事業の有効性</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	8	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	B	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名	V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策 (アフリカ豚熱及び豚熱の交差汚染防止緊急対策事業)		事業実施主体名	公益社団法人 中央畜産会	
補助金等の名称	アフリカ豚熱及び豚熱の交差汚染防止緊急対策事業費、推進事務費				
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】 [NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱	事業の目的	趣旨	捕獲・狩猟従事者や訪日外国人等を対象とした家畜伝染病の交差汚染防止対策の普及・定着
	事業の内容	<p>令和4年3月に確認された豚熱に感染した野生イノシシの事例において、豚熱ウイルスが何らかの人の活動を介して遠隔地に持ち込まれた可能性が強く示唆されており、人的な要因による豚熱ウイルスの長距離伝播への警戒が求められている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策における水際対策として実施されていた外国人の入国制限の見直しにより、訪日外国人の増加が見込まれているが、アジアの周辺諸国においてもアフリカ豚熱の発生が報告されており、外国からのアフリカ豚熱侵入を警戒する必要がある。</p> <p>本事業は国内の捕獲・狩猟者や訪日外国人等による交差汚染を防止するために、映像資料や小冊子、多言語広報資料等を通じて周知を図るものである。</p> <p>(1)交差汚染防止対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> 家畜疾病の野生動物間の交差汚染防止対策のあり方の検討に資するため推進委員会の開催 効果的な周知方法や広報について検討するため資料検討会の開催 訪日外国人等を対象としたアンケートの実施 </p> <p>(2)交差汚染防止対策の普及・定着 <ul style="list-style-type: none"> 捕獲・狩猟従事者向け映像資料の作成・配布 捕獲・狩猟従事者向け小冊子の作成・配布 外国人向け小冊子(6か国語分、いずれも日本語併記)の作成・配布 外国人向けポスターの作成・掲示 デジタルサイネージデータの作成・掲示 </p>			
補助金額(千円)	前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考	
		27,325			
視点別評価	<p>I 計画の達成度 4 3 2 1 0</p> <p>III 事業の効率性(費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>			【評価項目】 I 計画の達成度 II 事業の有効性 III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク	ランクの定義	
	合計点	10	A	視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)	
	判定(ランク)	A	B	視点別評価の合計点が8点以上10点未満	
			C	視点別評価の合計点が6点以上8点未満	
			D	視点別評価の合計点が6点未満	

【令和4年度畜産振興事業評価結果】

地方競馬全国協会 畜産振興部

事業名		V その他畜産振興事業 畜産振興特別対策 (全国和牛能力共進会開催支援)		事業実施主体名		第12回全国和牛能力共進会 鹿児島県実行委員会	
補助金等の名称		全国和牛能力共進会開催支援費					
事業の概要	根拠	【要綱、事業実施要領、その他】		事業の目的	趣旨	全国和牛能力共進会を通じた国産畜産物の消費拡大、畜産振興への理解促進及び担い手確保・育成	
		[NAR] (令和4年度)畜産振興事業補助実施要綱 [事業実施主体] 実行委員会規約			実施方法	新聞等による広報宣伝 研修・イベントの開催 ほか	
					受益対象者	和牛生産者等	
事業の内容		<p>5年に一度開催される全国和牛能力共進会の第12回大会が、令和4年10月6～10日に鹿児島県で開催された。</p> <p>本事業は、全国和牛能力共進会の認知度向上を図るとともに、共進会を通じて行われる、国産畜産物の消費拡大、畜産振興のための理解醸成及び担い手確保・育成に向けた活動を支援し、我が国の畜産の生産基盤の維持・発展を図るための事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国産畜産物(和牛)の消費拡大 ・全国和牛能力共進会運営 <ol style="list-style-type: none"> 1. ライブ配信による審査等の中継 2. 各展示ブースやイベント会場の設営 3. 担い手が大会に参加する際の旅費等の補助 ・担い手の確保・育成 <ol style="list-style-type: none"> 4. 「和牛盛り上げ隊」による全共運営への参画を支援(農業大学校生・農業高校生の就農への動機付け) 					
補助金額(千円)		前年度(R3実績)	評価年度(R4実績)	今年度(R5計画)	備考		
		10,000	45,000				
視点別評価	<p>I 計画の達成度</p> <p>III 事業の効率性 (費用対効果)</p> <p>II 事業の有効性</p>					【評価項目】	
						I 計画の達成度	
						II 事業の有効性	
						III 事業の効率性(費用対効果)	
総合評価	評価結果		ランク		ランクの定義		
	合計点	10	A		視点別評価の合計点が10点以上(12点満点)		
	判定(ランク)	A	B		視点別評価の合計点が8点以上10点未満		
			C		視点別評価の合計点が6点以上8点未満		
				D		視点別評価の合計点が6点未満	